

表 22 患者所在地からみた入院患者の動向

(単位:%)

患者住所地		自圏域内 自足率	受療先1		受療先2		受療先3	
地域	市町村名		施設所在地	依存率	施設所在地	依存率	施設所在地	依存率
八戸地域	八戸市	96.8	八戸市	95.5	三沢市	1.3	青森市	1.0
	三戸町	97.7	三戸町	45.5	八戸市	40.1	南部町	6.8
	五戸町	88.2	五戸町	46.1	八戸市	40.2	十和田市	7.9
	田子町	96.5	八戸市	38.4	田子町	30.2	南部町	11.6
	南部町	96.7	八戸市	64.2	南部町	25.6	三戸町	5.3
	階上町	97.4	八戸市	82.7	南部町	14.7	三沢市	1.9
	新郷村	85.1	五戸町	53.2	八戸市	31.9	十和田市	14.9
	おいらせ町	81.4	八戸市	50.5	おいらせ町	30.4	十和田市	9.3
	計	95.3	八戸市	82.4	五戸町	4.2	三戸町	3.0
青森地域	青森市	94.4	青森市	94.3	弘前市	3.3	黒石市	1.1
	平内町	95.3	青森市	55.2	平内町	40.1	弘前市	2.2
	今別町	98.3	青森市	65.0	今別町	20.0	外ヶ浜町	13.3
	外ヶ浜町	95.0	青森市	64.7	外ヶ浜町	24.4	今別町	5.9
	蓬田村	100.0	青森市	86.8	外ヶ浜町	13.2	-	-
	計	94.5	青森市	90.8	弘前市	3.2	平内町	2.2
	上十三地域	十和田市	81.6	十和田市	78.3	八戸市	11.7	青森市
三沢市	76.0	三沢市	59.2	八戸市	17.2	十和田市	11.9	
野辺地町	66.2	野辺地町	40.3	青森市	26.0	十和田市	17.5	
七戸町	76.0	七戸町	33.8	十和田市	31.4	青森市	12.3	
六戸町	65.3	十和田市	40.0	八戸市	22.1	六戸町	20.0	
横浜町	57.5	野辺地町	32.2	むつ市	19.5	青森市	19.5	
東北町	76.7	十和田市	29.1	東北町	24.0	七戸町	12.0	
六ヶ村	75.0	野辺地町	31.1	十和田市	15.9	東北町	14.4	
計	75.9	十和田市	39.4	三沢市	16.0	八戸市	11.6	

資料：平成 18 年度青森県医療機能調査

### 3) 地域におけるシルバー病院の位置づけ

高齢化が進み、脳卒中をはじめとした脳血管疾患患者が増える中、昭和 59 年の設立当初、八戸市にはリハビリ病院がなかった。公的病院が急性期医療を主に担う地域において、当院は高度な急性期は公的病院に任せ、患者の在宅復帰促進を目指してリハビリに重点を置いた。

当院のリハビリスタッフは PT19 名、OT16 名、ST6 名と、県内でも他院と比べ手厚く配置されている。

一般病床 201 床のうち、約 130 名はリハビリの処方箋が出ており、また、発症 2 ヶ月以内のリハビリ目的の入院患者は 70 名程度と、圧倒的にリハビリ患者が多い。

このようにリハビリに重点を置いているため、シルバー病院の入院患者は二次医療圏外からも多く、上十三二次医療圏のほか、下北二次医療圏や岩手県北部からも入院しており、リハビリ病院としての地位を確立している。

### 4) パスの作成、参加の状況

#### ① 八戸脳卒中地域連携パス

八戸二次医療圏の脳卒中地域連携パスは、先にも述べたとおり県の事業として県主導で導入されたものである。

平成 19 年度の新医療計画で地域連携への県の取組みが盛り込まれる前から、青森県では既述のように先進的にパス策定へ取組んできた。その第一号ということで、八戸